

事業・施策案リスト 【「ほごり」の柱】 *報道等での取り扱いにはご注意ください。

復興目標(目指す将来像)	目標達成のための基本的な考え方	重点施策		事業	
		名称	施策内容	事業名	事業内容
市民の『ほごり』 市民がみな、常総の「強み」を理解し、力をあわせてさらなる発展を目指している。	内陸食農日本一を再興する	農業を再建し、振興する	■激甚災害(本激)指定による特例措置を活かした復旧と強化	認定農業者育成・支援	地域農業の中核的な担い手である認定農業者(農林水産省)を認定するとともに、その育成・支援をするため、農業用機械等の購入に際し、利子助成を実施する。水害により甚大な被害を受けた農業基盤については、本事業により、今後継続的に農業を続けて行ける支援が必要不可欠である。
				地域農業計画支援	農業者の高齢化、後継者不足などの問題を抱えていたところに、水害が追い打ちをかけ、今後の常総市の地域農業の未来について、本格的に本気で地域で話し合うべき時期にきている。そのため話し合い、地域の将来農業計画に必要な支援を行う。
				農業効率化支援	農業の大規模経営化、貸農地(農地バンク)などを強かに推進し、筋肉質な農業を実現する。
				青年就農給付金の交付	青年の新規就農者を確保・支援するため、経営が不安定な就農直後の所属を確保するための支援金を交付する。農業は儲からないという意識から、特に若い世代で就農する人は少ない。そのため、就農直後に支援を行うことで継続的に農業を続けてもらうことが目的。
				災害緊急対策融資	平成27年9月関東・東北豪雨の影響により損害を受け、経営の安定に支障をきたしている事業者に対し、事業継続のための支援を実施する。
				関東・東北豪雨に伴う被災中小企業復興プログラム復興支援	商工会や観光物産協会、中小企業に対して復興のための事業や観光資源向上のための事業に対し支援することで、誘客、にぎわいつくりを創出する。また、被災した中小企業への各種助成や支援を行うことで負担軽減や事業展開、雇用の確保を図る。 1. 誘客、にぎわいつくりの創出支援(イベント、誘客活動、観光資源の魅力向上) 2. 事業再開、経営安定化のための助成(店舗等の解体・仮設・災害融資の利子補給) 3. 事業展開の支援(特産品づくり、販路拡大) 4. 雇用確保の支援(雇用確保、人材育成、人件費補助)
				空き店舗補助金交付	空き店舗の利用を促進することによって、商店街の活性化を図り、賑わいのあるまちづくりを推進する。また、水害により空き店舗化する物件も増加すると見込まれるため、新規店舗の参入を促進する。
				営農・産業団地の整備	土地区画整理事業による産業団地(物流を主とする)の基盤整備及びベンチャー企業も含む企業誘致。進出する企業には、緊急時に建物上階を避難場所としての提供や、支援物資の提供など、災害連携協定を依頼する。また、土地改良事業による農地の大区画化を含めた営農団地の基盤整備及び大規模施設園芸の実践、農業生産法人の誘致及び育成、進出する農業生産法人には、緊急時に支援物資の提供など、災害連携協定を依頼する。
				市民参加型ミニムジック推進	お店を出せる場と体制を整備する。 コンパクトなプロジェクトの常総市版。コンパクトで市民が気軽に
				道の駅整備	圏央道常総市の周辺の営農団地のほか、市内外の農産物及び加工品等の販売など、大次産業化に資する道の駅を整備する(まち・ひと・しごと創生総合戦略と連動する)。道の駅は、緊急時の防災拠点機能についても検討する。
アグリサイエンスハブー利用促進	圏央道常総市の開通による交通網の利点を生かして、新しい農業を目指すアグリサイエンスハブー構想周辺地域において、農業者・農業生産法人が高収益作物の生産拡大に向けて行う初期投資(バイオハウス設置、井戸掘り等)の軽減を図るための助成を行う。(例)対象:施設園芸、条件:周年栽培(トマト、レタス、みょうな、ほうれん草、きゅうり、イチゴ等)				
アグリビジネス雇用支援	圏央道常総市の周辺整備事業で形成される産業団地・営農団地・道の駅を想定した集客販売施設への雇用支援、営農団地における新規就農及びベンチャー企業の育成支援。経営者の右腕として活躍する人材を市内外から集める右腕プログラムも実施する。後継者マツシグの常総ハブー事業も推進する。				
農商工連携を推進する	農林業者による6次産業化を推進するため、事業の認定を受けた者に対し、プロジェクトによるサポート、無利子融資資金の償還期間等の延長、新商品開発・販路開拓等に対する補助のかさ上げ等を実施する。				
				6次産業化農商工連携の推進	
				ビジネス支援サービス	起業・創業及び就職に役立つ資料を揃えた「ビジネス支援コーナー」を図書館内に設けている。今後は、ハローワークや専門家(中小企業診断士等)等による相談会の開催など、さらなるサービスの充実を図りたい。また、復興の担い手となる若者起業家を育成する「常総起業塾」を設置する。大学生などが試験的に出店できるよう、地域住民が支える。市内で教育を受けた外国人が職業に対する夢を持つような教育も行う。他地域の先進事例を学び、企業へのインタビューなどを通じ、小中学生時にキャリア・プログラムを考える機会を設ける。

事業・施策案リスト 【「ほごり」の柱】 *報道等での取り扱いにはご注意ください。

復興目標(目指す将来像)	目標達成のための基本的な考え方	重点施策		事業	
		名称	施策内容	事業名	事業内容
		食農の世界展開を支援する	■成田空港(約1時間)から世界へ	世界最先端のアグリ・テクノロジーの応用支援	シリコンバレーの最先端のアグリ・テクノロジー(農作業の自動化、IoTによる農作業の最適化、農作物の加工技術)の実践を支援する。技術的支援やビジネスモデル解析等は、筑波大学の協力を得る。